

1. 学会関連情報

○「現存被ばく状況における環境修復活動で発生する廃棄物の管理に関する防護のガイドライン」に関する意見募集について(締切:2019年12月31日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=177>

○ガイドライン「眼の水晶体の線量モニタリング」に関する意見募集について(締切:2019年12月31日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=178>

○2019年度日本保健物理学会賞受賞候補者推薦の募集について
推薦書の締切:2020年2月21日(金)(必着)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=179>

○国際ワークショップ“Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network”の記事がSRPのホームページに掲載されました。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=180>

○令和元年度第1回放射線防護標準化委員会公聴審議会開催について
令和2年1月7日(火) 会場: 東京大学工学部5号館1階52号室

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=181>

○放射線防護アンブレラ事業 第3回ネットワーク合同報告会開催のご案内
2020年1月14日

<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php>

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Radiation Protection Dosimetry (2019), Vol.18, No.1, pp/35-41

ICRU No.90 レポートで示された新しい質量エネルギー吸収係数を用いて X 線に対する実用量への換算係数を計算した結果、従来との差異は無視できることがわかった。

INFLUENCE OF NEW MASS ENERGY-ABSORPTION COEFFICIENTS FROM ICRU

REPORT

NO. 90 ON AIR KERMA TO DOSE EQUIVALENT CONVERSION COEFFICIENTS

K Bairlein et al

<https://doi.org/10.1093/rpd/ncy213>

○ JAMA Intern Med. 2019 in press. doi: 10.1001/jamainternmed.2019.0981. [Epub ahead of print]

甲状腺機能亢進症の放射性ヨウ素治療を受けた約1万9千人の患者におけるがん死亡リスクを解析。患者の8割が女性で、9割がグレーブス病(バセドウ病)に罹患。胃線量100 mGyでの全がん死亡の相対リスクは1.06(95% CI, 1.02-1.10)、乳房線量100 mGyでの女性乳がん死亡の相対リスクは1.12(95% CI, 1.003-1.32)で有意に増加。

Association of Radioactive Iodine Treatment With Cancer Mortality in Patients With Hyperthyroidism.

Kitahara CM et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31260066>

○British Journal of Radiology, 2019/12/20. DOI: 10.1259/bjr.20190843

[ONLINE AHEAD OF PRINT]

放射線発がんにおいて、放射線誘発の変異モデルに代わる早期発症モデル(自然発症がんを放射線が早期化する)を動物実験データと疫学データの対比しながら討論した論文

A Hypothesis: radiation carcinogenesis may result from tissue injuries and subsequent recovery processes which can act as tumor promoters and lead to an earlier onset of cancer

Nakamura N

<https://doi.org/10.1259/bjr.20190843>

○J Epidemiology 2019 Dec 07; doi: 10.2188/jea.JE20190158.

2008年から2013年に頭部外傷を理由に病院を受診した歳以下の小児を対象に日本医療データセンターのデータベースを調べた結果、頭部外傷が理由でCT検査を受ける小児は福島事故後に減少したことを明らかにした。しかし、小児CT検査が重大な頭部外傷を見逃していることはなかった。

Influence of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on the use of computed tomography in children with mild head injuries

Shotaro Aso, Hiroki Matsui, Hideo Yasunaga

<https://doi.org/10.2188/jea.JE20190158>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制庁: 報告書・意見具申・答申等

令和元年12月 女性の放射線業務従事者に対する線量限度・測定頻度(「妊婦である放射線業務従事者に対する線量限度」を含む)に関する今後の審議の進め方に係る中間的な取りまとめ

<https://www.nsr.go.jp/data/000293884.pdf>

* 報告書の中(2ページ目下から3行目)に「日本保健物理学会のガイドラインを参考に」との記載があります。

○ICRPが2020年1月1日にPublication 137以前の全ICRP Publicationを無料公開開始

<https://mailchi.mp/icrp/freetheannals>

○国立環境研究所 NIES レターふくしま12月号を発行(12月16日)

https://www.nies.go.jp/fukushima/jqjm1000000a3pas-att/NIES_letter_fukushima-25.pdf

○環境省 11月18日に国際環境NGOグリーンピース・ジャパンより福島県Jヴィレッジ周辺の空間線量が高いとの指摘を受け、Jヴィレッジ及びその周辺における空間線量率の測定調査結果を公表(12月12日)

<http://www.env.go.jp/press/107536.html>

○原子力規制委員会 古河機械金属(株)技術統括本部新材料開発部(茨城県つくば市)における密封線源(表示付認証機器、セシウム137)の所在不明に関する報告を受理。12月16日時点で同線源の発見には至っていない。(12月16日)

<https://www.nsr.go.jp/activity/bousai/trouble/houkoku/220000178.html>

○原子力規制委員会 原子力災害対策指針(改正案)及び原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則類の一部を改正する規則(案)等に対する意見募集を開始。(12月19日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20191219_02.html

○環境省 除染作業で生じた除去土壌等の減容・再生利用に係る技術開発、再生利用の促進に係る事項等についての第11回検討会議を開催(12月19日)

<http://www.env.go.jp/press/107504.html>

○原子力規制委員会 第147回放射線審議会総会を開催(12月23日)

<https://www.nsr.go.jp/data/000293968.pdf>

○ICRPが2019年11月に開催した第1専門委員会の要約を公開

<http://www.icrp.org/admin/Summary%20of%202019%20C1%20Meeting%20Adelaide-20191219151250.pdf>

○ICRPが2019年11月に開催した第4専門委員会の要約を公開

<http://www.icrp.org/admin/Summary%20of%202019%20C4%20Meeting%20Adelaide-20191219151513.pdf>

4. これからのイベント

○放射線影響協会 「現存被ばく状況の放射線防護」に関する専門家意見交換会

(令和2年1月21日、東京)

<http://www.rea.or.jp/kikaku/event/kouzakaisai.htm>

○福島大学環境放射能研究所 公開シンポジウム／第12回研究活動懇談会

福島森・里・川・海の今 ～放射能問題からウナギ・カレイの新発見まで～

(令和2年1月24日、京都)

http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/f_seminar.html#d200124

○the 9th International Symposium on Space Radiation and Particle
Radiotherapy (ISSRPRT2020)

(令和2年4月15日～19日、蘇州、中国)

<http://www.issrp2020.com/>

○第75回放射線計測研究会

(令和2年1月18日(土)13:30 - 17:30、和光 理化学研究所)

<https://sites.google.com/site/radmeas/>

○EPR Biodose 2020

(November 3-7 2020, 岡山)

<https://iaber.org/index.php/epr-biodose-2020/>

○第21回「環境放射能」研究会

(令和2年3月12日(木)10:00頃 ～ 3月13日(金)、つくば KEK)

<http://rcwww.kek.jp/enviconf/>

○RICOMET conference

(Greece 1st to 3rd of September 2020)

https://events.sckcen.be/event_website_pages/view/home/5de67e3e-61b8-437d-91b3-0d8b0a343d02/b3785e913e

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○公益財団法人 環境科学技術研究所 任期付研究員(環境影響研究)(任期付き 令和2年1月14日必着)

http://www.ies.or.jp/profile_j/profile108_20200114a.html

○東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所 助教 常勤(任期あり) 5年以内(再任1回:5年以内)

(〆切:1月16日 必着)

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 知的財産の利活用及び産学官連携の推進分野に係る技術系職員の募集(定年制)

【募集詳細】<https://www.jaea.go.jp/saiyou/career/307/>

(〆切:1月14日 必着)

○一般財団法人電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター 常勤(任期なし)

研究員募集(放射線防護のための放射線リスク評価と最適化研究)

【公募の URL】<https://recruit.denken.jp/kadai/post-274/>

(〆切:2月29日 必着)

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

—•—•—•—•—•—•—•—•—•—

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同広報担当 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —